

地域未来交付金(地域未来推進型)事業実施状況及び事業の評価								
事業名	都市部の大学サークルと指定棚田地域の連携事業							
交付金名	地域未来交付金(地域未来推進型)【令和8年度】							
事業年度	令和7年度～令和9年度(3年間)							
事業概要及び事業費	棚田地域振興法に基づく指定棚田地域の一つであり、当市の貴重な観光資源でもある「別宮の棚田」において、都市部の大学サークルと農業者が協働し、遊休農地の解消、生産した米の高付加価値化、地域の魅力の発信等に取り組み、当該地域が有する多面的機能の将来にわたる維持、農業者の確保を目指す。							
	年度	事業概要					事業費	
	R7	【事業概要】 地域農業者との協働による水稲の作付、遊休農地の再生、刈払機の使用講習会の実施 【事業費】 ・大学サークルの活動に係る運営費(資材費等を含む) 454千円 ・刈払機の使用に係る研修費 99千円					553千円	
	R8 (予定)	【事業概要】 耕作放棄再生田への水稲の作付、指定棚田の景観向上、地域の魅力向上のための研修 【事業費】 ・大学サークルの活動に係る運営費(資材費等を含む) 900千円 ・ブランド化等に係る研修費 100千円					1,000千円	
	R9							
計						553千円		
KPI	評価指標(KPI)	開始前 R6	目標値			実績値		
	① 耕作面積 ※耕作面積を減少させないことを計測	56,464.0㎡	R7 0㎡ (前年から減少なし)	R8 0㎡ (前年から減少なし)	R9 0㎡ (前年から減少なし)	R7 0㎡	R8	R9
	② 地域における新規就農者数(研修生含む)※R10に1人増加を目標とする	0人	0人	0人	0人	0人		
事業評価	R7	当初の想定どおりの活動回数は確保できたが、1回あたりの参加人数が低調であった。 活動内容としては、地域の農業者と協働し水稲の作付けをしたり草刈り等をおしての景観向上に努めた。 また、これまで耕作放棄地化していた田の再生も行い、次年度に向けての準備ができたことは地域にとっても学生にとっても大きな収穫であったと評価できる。						
	R8							
	R9							
担当課	農地政策課							